

# 神戸市感染症発生動向調査週報

平成30年8月30日 作成

神戸市感染症情報センター

報告定点数 48 ケ所 (内訳) 東灘6, 灘3, 中央3, 兵庫3,  
設置定点数 48 ケ所 北8, 長田3, 須磨6, 垂水8, 西8

第 34週

平成30年8月20日 ~

平成30年8月26日

## インフルエンザ

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	~14歳	~19歳	~29歳	~39歳	~49歳	~59歳	~69歳	~79歳	80歳~
インフルエンザ										0																				

## 小児科

報告定点数 31 ケ所 (内訳) 東灘4, 灘2, 中央2, 兵庫2,  
設置定点数 31 ケ所 北5, 長田2, 須磨4, 垂水5, 西5

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	~14歳	~19歳	20歳~					
RSウイルス感染症	4		2		3		2	8	2	21	1	4	11	4		1													
咽頭結膜熱	1				2	2	1	2	3	11				3	1	1		1	2	1									2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3		2			1	3	8	5	22				1		4	4		1	2	2	4	1						3
感染性胃腸炎	2	7	4	3	6	1	17	49	11	100	3	11	13	16	10	6	4		4	2	3	13	5						10
水痘					1	1		1		3			1				1				1								
手足口病	7	3	1	2		2	2	5	2	24		4	8	4	1	1	2	2	1	1									
伝染性紅斑	1								1	2			1				1												
突発性発疹							3	3	2	8		2	4	2															
ヘルパンギーナ		3		1	5		5	4	8	26		6	7	3	3	3	3	1											
流行性耳下腺炎	1					1	1		1	4				1								1							

百日咳は、平成30年1月1日から全数報告となりました。医療機関で患者を診断した際には、届出基準に基づき、届出の提出をお願いいたします。

報告定点数 10 ケ所 (内訳) 東灘1, 灘1, 中央1, 兵庫1,  
設置定点数 10 ケ所 北1, 長田1, 須磨1, 垂水1, 西2

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	~14歳	~19歳	~29歳	~39歳	~49歳	~59歳	~69歳	70歳~
急性出血性結膜炎										0																			
流行性角結膜炎	4				1	1			1	7								1						2	3			1	

### 【定点機関から報告されたその他の感染症情報】

東灘区○アデノウイルス感染症2例:1歳 男、3歳 女  
灘 区○細菌性腸炎(カンピロバクター)1例:18歳 男  
北 区○アデノウイルス感染症1例:1歳 男  
垂水区○細菌性腸炎(病原性大腸菌O1)1例:年齢性別不詳  
○細菌性腸炎(カンピロバクター)2例:年齢性別不詳

### 【基幹定点(市内3ヶ所)からの報告】

無菌性髄膜炎1例:0歳2か月 男

### 【市内の感染症の状況】

#### ○RSウイルス感染症

例年、秋頃から患者の増加するRSウイルス感染症ですが、昨年からは夏の時点から患者数が増加する傾向にあります。今年も患者数が増加しつつあるため、注意が必要です。手洗い、うがいを励行し、予防や感染拡大防止に努めましょう。

#### 【行政検査情報】行政検査:公衆衛生上、問題となる病原体について市が行う検査

#### ○風しん(五類感染症)疑い 23歳 女 検査結果:PCR陰性

・症状:発疹、リンパ節腫脹 ・風しん患者との接触歴不明 ・ワクチン接種歴不明 ・患者発生地域での滞在歴あり

#### ○風しん(五類感染症)疑い 32歳 男 検査結果:PCR陰性

・症状:発熱、発疹、リンパ節腫脹、結膜充血 ・風しん患者との接触歴不明 ・ワクチン接種歴不明

・患者発生地域での滞在歴あり

先週に引き続き、首都圏での風しん患者が増加しています。第33週(8月13日~8月19日)の全国の風しん患者は43名で依然として千葉県や東京都の報告が多いです。本市では、医療機関からの風しん疑い患者に関する相談が増えていきます。今後、関西でも首都圏に滞在歴のある風しん患者が発生するおそれがあります。風しん患者の発生している地域に滞在後14日~21日(平均16日~18日)に風しんを疑う症状(発熱、発疹、リンパ節の腫れ等)が出現した際は、受診前に医療機関に連絡し、医療機関の指示に従って受診しましょう。また、医療機関で風しんを疑う場合、届出までの流れをご確認のうえ、流行地への滞在歴や予防接種歴などを確認し、診療していただきますよう、お願いいたします。

[風しん 111情報センター](#)

【お知らせ】バックナンバーは神戸市のホームページからご覧いただけます。

[神戸市 発生動向](#) [\[検索\]](#)

[「111情報センター」ホームページを開設しています。詳細はこちらをクリック](#)

# 神戸市感染症発生動向調査週報

神戸市感染症情報センター

2018年8月30日作成

## 全数把握対象感染症発生状況 (二類感染症 結核)

結核届出患者数は6人(うち潜在性結核感染症0人)です。

## 全数把握対象感染症発生状況 (三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	菌種	診断方法(検査法)	症状	推定感染原因	備考
女	70代	2018年8月22日	2018年8月24日	2018年8月28日	O157 (VT1VT2)	分離・同定による 病原体の検出(便)	血便	不明	-

## 全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 後天性免疫不全症候群)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法(検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	40代	-	2018年7月10日	2018年7月13日	無症状病原体保有者	ELISA法 Western Blot法 HIV抗原検査	なし	不明	

## 全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 梅毒)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法(検査法)	症状	推定感染原因	備考
女	30代	2018年6月	2018年8月14日	2018年8月21日	早期顕症梅毒Ⅱ期	RPRカードテスト TPHA法	梅毒性バラ疹	性的接触	-

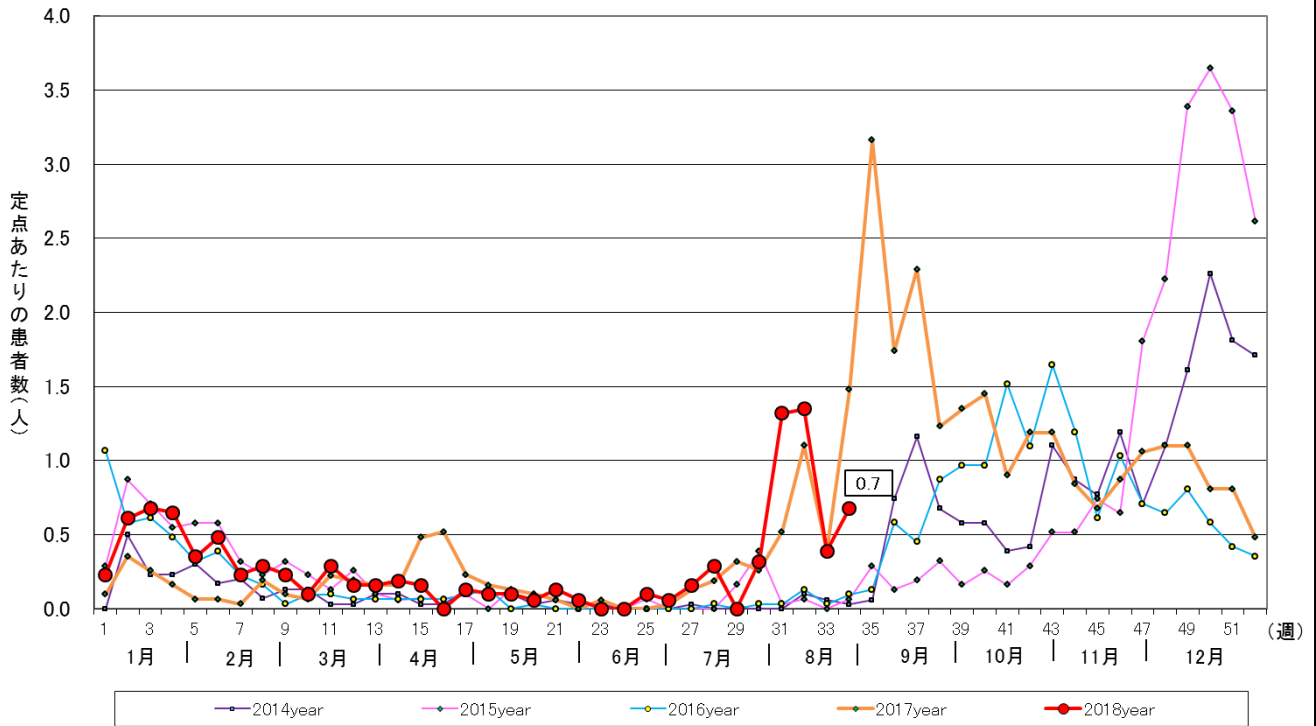
## 全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 百日咳)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法(検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	5~9歳	2018年8月10日	2018年8月10日	2018年8月23日	-	検体からの病原体遺伝子の検出(LAMP法)	持続する咳 夜間の咳き込み	不明	ワクチン接種歴あり (4回)
女	0~4歳	2018年8月	2018年8月21日	2018年8月24日	-	検体からの病原体遺伝子の検出(LAMP法)	持続する咳	家族内感染	ワクチン接種歴あり (4回)

## 神戸市環境保健研究所における病原体分離・検出状況

病原体	検体	区	状況
パレコウイルス3型	咽頭ぬぐい液 便	中央	0歳2ヶ月男(8/18,20採取、39.8℃、無菌性髄膜炎)
シトロバクター・ブラッキー <i>Citrobacter braakii</i>	分離株	北	76歳、男性 Class C β-ラクタマーゼ産生, PCR法によるβ-ラクタマーゼ遺伝子は陰性

定点あたりのRSウイルス感染症報告数



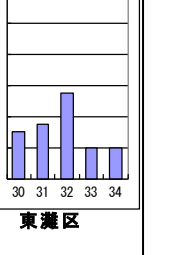
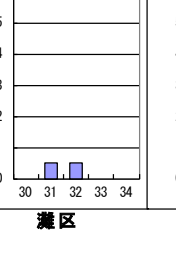
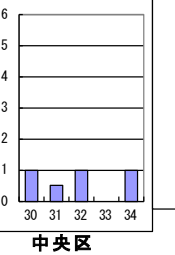
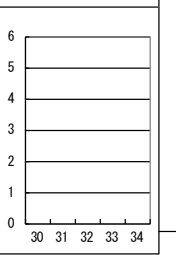
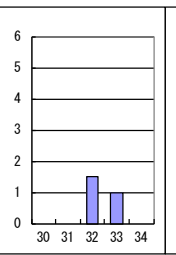
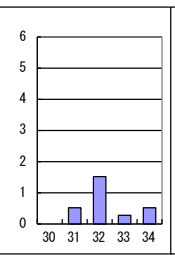
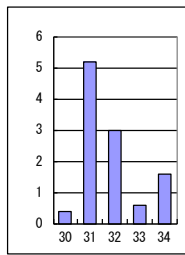
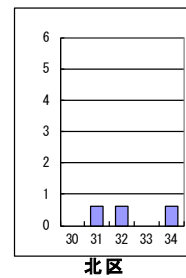
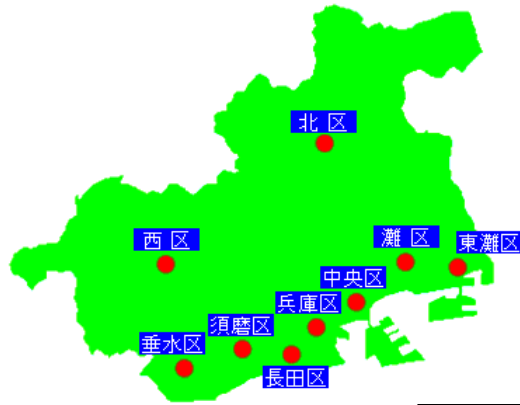
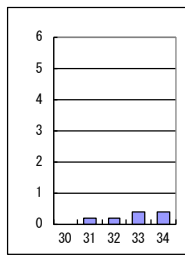
疾病別・地区別・定点あたり患者数マップ

第 30 週 平成30年7月23日

～

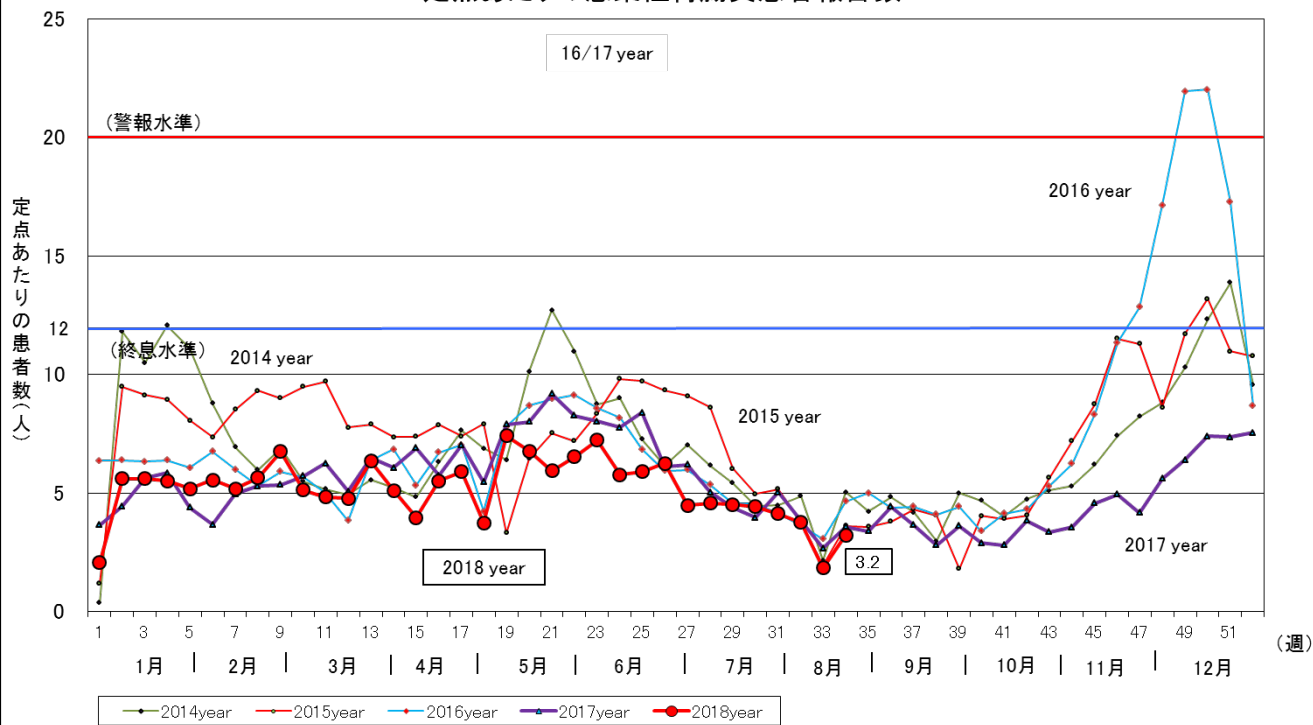
第 34 週 平成30年8月26日

RSウイルス感染症



※ このマップは各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。各区の定点医療機関数は区の人口に合わせて設定しています。すべての医療機関からの報告ではないため、区内の経時的な傾向を把握することはできませんが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。

### 定点あたりの感染性胃腸炎患者報告数



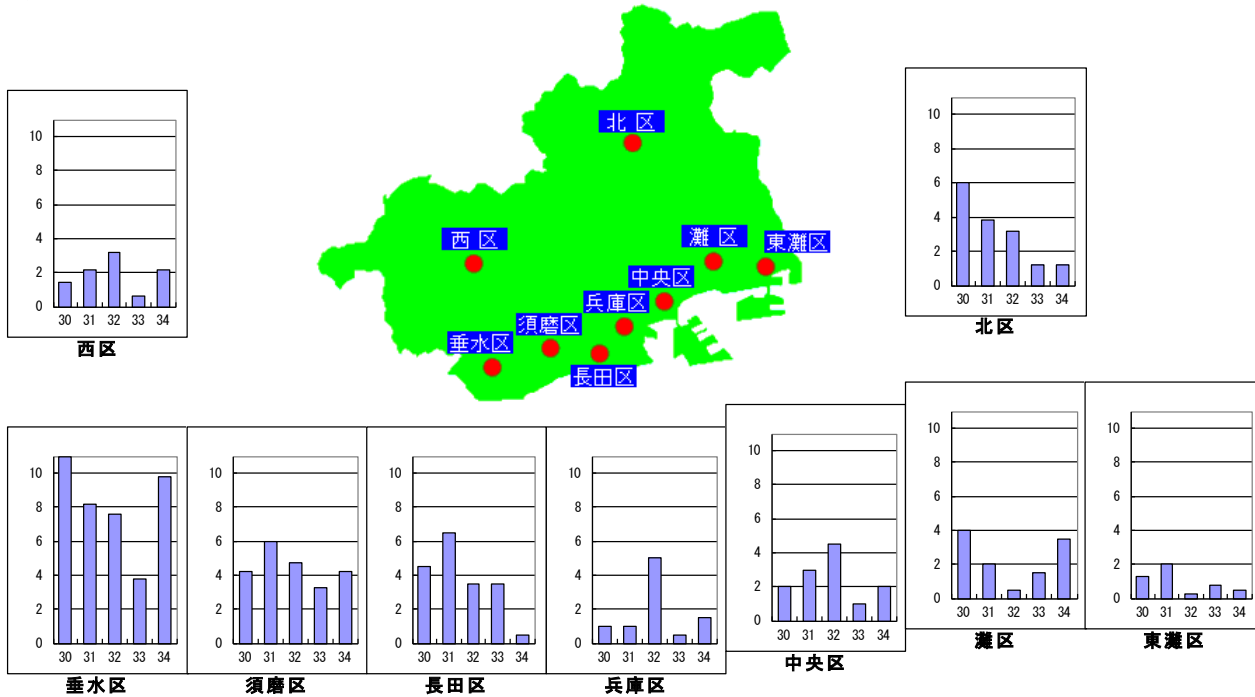
### 疾病別・地区別・定点あたり患者数マップ

第 30 週 平成30年7月23日

~

第 34 週 平成30年8月26日

#### 感染性胃腸炎



※ このマップは各区の定点報告医療機関の報告数を平均シグラフ化したものです。各区の定点医療機関数は区の人口に合わせて設定しています。すべての医療機関からの報告ではないため、区内の経時的な傾向を把握することはできませんが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。